

# 特定外来生物の防除への協力をお願い

## －ナガエツルノゲイトウ・クビアカツヤカミキリの根絶に向けて－

- 特定外来生物であるナガエツルノゲイトウの繁茂期（6月～10月）とクビアカツヤカミキリの活動期（6月初旬～8月初旬）が目前に迫っていることから、それぞれの生物の概要と発見した時の対応をお知らせします。
- また、これ以上被害を拡大させないため、県民の皆様を知っていただきたいことをまとめた啓発動画（各60秒程度）を作成しました。ぜひご覧いただき、生態系の保全のためご協力をお願いします。

## 1 ナガエツルノゲイトウの概要

国が特定外来生物に指定している南米原産の水生植物

### □ 農業被害等の発生

田畑で繁茂すると作物を覆い生育不良を生じたり、ため池等の水面を覆い尽くし、在来生物の生息環境を奪う

### □ 凄まじい繁殖力・再生力

わずか2mm程度の根の断片からも再生可能  
1シーズンに5m伸長

### □ 乾燥に非常に強く、耐塩性もあり

水生植物だが、陸上や海浜でも生育

### □ 県内発生状況

16市町※で発生 ※神戸、姫路、尼崎、明石、西宮、洲本、伊丹、加古川、西脇、高砂、川西、南あわじ、猪名川、多可、稲美、播磨  
平成元年 尼崎市で初めて発見（国内初）



### 【特徴】

- ・長い柄の先に球状の白い花
- ・茎から1対の葉が生える（対生）
- ・葉は主脈が目立つ
- ・茎は節があり、中が空洞で、表面がツルツル
- ・葉の先はやや尖る

**見つけたら、触らずに、県に通報を！**

※刈り取り等により、ちぎれて拡散すれば逆に被害を広げてしまいます。



<通報先>

<注意事項> 生きたまま許可なく運搬してはいけません。（最高で個人の場合懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金）

## 2 クビアカツヤカミキリの概要

サクラ、モモ、ウメなど主にバラ科の樹木に発生し、枯死させる特定外来生物

### □ 景観の悪化等

幼虫が樹木の内部を食い荒らし、公園、街路樹、学校のサクラや果樹園のウメ・モモなどバラ科樹木の枯死、倒木等が発生する。

### □ 凄まじい繁殖力

成虫は樹皮に最大1,000個近く産卵  
(6月初旬～8月初旬)  
車や鉄道に付いて生息地拡大

### □ 県内発生状況

5市※で発生  
※神戸、明石、西宮、芦屋、三田  
令和4年6月 明石市で初めて発見



<成虫>



<幼虫>



<フラス>

### 【特徴】

- ・成虫の体長は約2～4cm
- ・光沢のある黒色で胸部（前胸背板）が赤い。
- ・幼虫は「フラス」という木くずと糞の混じったものを木の外に出す。



<通報先>

## 見つけたら県に通報を！

- ・成虫は、殺虫剤をかけるか、靴で踏みつぶして、すぐにQRコードから通報をお願いします。（成虫が飛び立つと、生息地が拡大し、被害を広げてしまいます。）
- ・フラスを見つけた場合にも、触らず同様に通報をお願いします。（樹木に幼虫が生息していますので、退治します。）

<注意事項> 生きたまま許可なく運搬してはいけません。（最高で個人の場合懲役3年以下もしくは300万円以下の罰金）

### 3 啓発動画の内容

動画はこちらから  
ご覧いただけます

[https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/environment/leg\\_240/leg\\_290](https://www.kankyo.pref.hyogo.lg.jp/jp/environment/leg_240/leg_290)



- 出演者：KissFMサントクルターザン山下氏、県職員
- 動画の長さ：それぞれ約60秒
- 掲載媒体：県・市町HP、各種SNS、デジタルサイネージ（三宮センター街、公共交通機関(検討中)）等

項目	ナガエツルノゲイトウ	クビアカツヤカミキリ	内容
導入			侵入危機に直面している状況
解説			それぞれの生物の解説
啓発 呼びかけ			見つけた際の対処方法の啓発 発見時の県への通報協力の呼びかけ